

## 東京弁護士会の「同好会制度」

### vol.6 オペラ愛好会 "La Campanella"

東京弁護士会オペラ愛好会 事務局長 田島 正広 (48期)



#### 1 オペラ愛好会とは？

東京弁護士会オペラ愛好会 "La Campanella" (ラ・カンパネッラ、以下「オペラ愛好会」といいます)は、東弁5番目の同好会として令和3年6月に発足しました。吉岡桂輔会長、伊藤茂昭副会長の下、正会員(東弁会員)31名、準会員(他会会員外)6名の皆さんで運営しています。オペラ通の方もオペラは初めてという方もウェルカムな会で、自主企画のコンサートや新国立劇場をはじめとする各種オペラの鑑賞会を実施し、オペラを愉しむと共に会員相互の親睦も深め、ともすると疲弊しがちな弁護士生活に彩りと輝きをもたらそうとする趣旨にて活動を展開しています。"La Campanella"とは小さい鐘を意味しますが、小さい鐘がいつかは大きく鳴り響いてほしいとの願いを込めた命名となります。会規約にて入会金、年会費は無料、連絡手段はメールのみとし、イベント毎の受益者負担にて運営していますので、気軽に参加しやすい同好会です。

#### 2 オペラの愉しみ

オペラというと、「敷居が高い!」と言われがちです。それこそ正装して畏まって観に行くものと誤解されることもあります。そういうフォーマルな機会は実はごく限られた場合であり、歴史的にも18世紀末以降は庶民が気楽に愉しむ芸術となっています。日本では海外のオペラ座の引越越し公演のチケットは非常に高額になりがちですが、日本の一線級の歌手の水準は実は世界レベルですから、穴場の公演はいろいろあるものです。

オペラ作曲家は、多くの場合脚本作家と連携してその台本を基礎に作曲し、原作の良さを2~3時間程度の

作品に凝縮してドラマティックに表現します。歌手、合唱団とオーケストラが一体となった公演では、ソロ歌手のアリアから二重唱をはじめとする重唱、合唱団による合唱、そしてオーケストラによる前奏曲や間奏曲など、様々な楽曲が展開し、バレエが披露される作品もあります。指揮者と演出家の指導の下で歌手には、歌唱はもちろん、演技に至るまで感情豊かな表現が求められます。その感動的な歌唱を目の当たりにして、「作品のストーリー展開は分かっているのに、どうにも涙が止まらない!」という経験をしたことのあるオペラファンは数多いことでしょう!!

同じ作品でも指揮者が違えば、音楽的な解釈がかなり異なることもあります。また、演出は音楽にはタッチすることなく創作性を発揮できる領域として、より一層自由度が大きくなります。例えば、紀元前のユダヤを舞台にした作品「ナブッコ」で、ユダヤに侵攻するアッシリア軍を、現代の百貨店を襲撃するテロリストに見立てた演出もありました(新国立劇場)。現代風演出は演出の幅が広がる一方で、作品の時代性が希薄になるデメリットもあります。「今日の演出はちょっとなあ」といった会話は、ファンの間では終演後によく交わされます。ヨーロッパの歌劇場でよく観られる、最終幕の幕が下りた瞬間の大ブーイングは、まさに演出に対する観客のメッセージです。

今やオペラ公演には字幕が付くのが当たり前ですから、思い立っていきなり公演を観に行かれても十分楽しめますが、予習をして臨み、あるいは同じ作品を違う演奏で観ることで、さらに愉しみが増えるといえるでしょう。

歌唱に焦点を当てると、例えば、テノール(男声高音パート)のアリアで最高音域のハイC(高音のド)が綺麗に決まるかは、フィギュアスケートの4回転ジャンプ

のそれにも匹敵するもので、観客も今日の歌手の調子はどうかと手に汗握りながら、その瞬間を待つものです。有名歌手でも必ずしも本調子でない場合もあります。逆に新進気鋭の若手が突き抜けた素晴らしい歌唱を披露することもあります。まさに、一期一会の感動に出逢えるのがオペラであり、そんな感動体験を共有できる仲間の輪がオペラ愛好会なのです。



2022年3月 新国立劇場にて

### 3 オペラ鑑賞会、コンサートの実施

オペラ愛好会では、設立以来2、3か月に1度、新国立劇場のオペラ、あるいは会派でも優待が実施されているクオーレ・ド・オペラの公演の鑑賞会を実施して来ました。当会では関係者の伝手もあって、佳いお席を優待価格にてご提供させて頂いています。そして、鑑賞会の後には食事が付き物でして、オペラの感動に酔いしれながら乾杯し、公演の出来栄を語り、感動を高め合います。

また、レストランを貸し切って歌手とピアニストをお呼びして開催する自主企画コンサート（「ワインを飲みながらオペラを愉しむ会」）は、新型コロナウイルスが収束

しない中では実施が難しかったのですが、2022年7月上旬に漸く第1回コンサートをテノールの安<sup>あんぼ</sup>保克則さん、ピアニストの篠宮久徳さんをお呼びして実施しました。プロの部の華麗な歌唱コーナーの後は素人の部として、皆さん（当職含むw）大いに歌われました！こうした企画はこれからもどんどん実施していく予定です。吉岡会長にはこれらのイベントになんとほぼ毎回ご参加頂いており、今やどなたよりもオペラ通でいらっしゃいます!!

この他、会員の中には、市民合唱団などの団体で活躍している会員や自主企画で自ら歌われる会員もいます。こうした機会を共有することもまた、オペラの愉しみの一つといえるでしょう。

### 4 入会方法

いかがでしょうか。オペラ愛好会に少しご興味をお持ち頂けましたか？オペラ愛好会への入会をご希望の方は次の連絡先にご連絡ください。どなたでもウェルカムです！

「いきなり入会はちょっと…」というあなた！まずは一度オペラ鑑賞会でご一緒してみませんか!! ご連絡をお待ちします！



2022年7月 自主企画コンサートにて